

■授業の目的

工学部学生を対象とした教職科目です。学校教育における職業指導の在り方や意義を学習し、生涯にわたる職業観を育む指導法を研究する。又、児童生徒に対しての職業理解を促す学習活動の在り方、教材の活用法を身に付ける。

■授業の到達目標

工学系教員免許取得を目指しており、勤労観・職業観の醸成法、職場環境の変化、キャリア教育の意義を理解する。又、職業指導に関する指導案作成法、教材開発法を身に付け授業実践できるようにする。

■授業計画

- 1 文部科学白書に示された中学校・高等学校における職業教育の現状と課題を分析する
教育基本法、中学校学習指導要領、高等学校学習指導要領
- 2 国際化に伴う国内、国外の就労形態や労働環境の変化を解析する
- 3 情報社会に対応した職業指導の在り方、職場環境の変化、労働形態を研究する
- 4 児童生徒の発達段階における社会倫理意識の醸成法を研究する
- 5 職業指導に関する校内体制、学年運営、学級経営の手法を解析する
- 6 今後の学校教育でのキャリア教育を進める教師に求められる指導要素を研究する
- 7 児童生徒一人一人の発達段階に応じた職業指導授業の進め方を分析する
- 8 幼児期、児童期における職業指導の必要性、自己形成時での体験学習を解析する
- 9 実践演習 高等学校を想定した職業指導に関する指導案を作成する
- 10 実践演習 グループ討議をもとに授業改善、改善指導案を作成する
- 11 実践事例研究を参考として自己の改善案を取り入れた指導案を作成する
- 12 産業構造の変化、就労環境の変化を見越した職業指導教材の開発法を研究する
- 13 職業指導実践に生かせる実践事例を調査し、その手法や特徴を分析する
- 14 初等・中等教育における職業指導の重要性と指導改善の方策をまとめる
- 15 「職業指導」に求められる真の勤労観・職業観を解説する。授業内試験

■授業の方法

授業を基本とするが、職業指導の課題に対する背景や要因について演習やグループ討議を含めた授業展開となる。さらに、指導案を作成し模擬授業を行う。模擬授業を基に改善指導案を作成する。

■予習・復習

必要に応じ、授業前に資料や補助プリントを配布するので事前に課題を整理しまとめておく。指導案作成について事前に連絡するので、持ち帰り作成する。日頃から、新聞、雑誌等で職業指導、キャリア教育に関する記事をスクラップしておく。

■成績評価の方法

授業を受けることが前提です。授業内試験（60%）、演習、意識調査、意見書（40%）の割合で評価します。授業中に3回の演習を行います。意識調査、意見書等は授業の終わりに回収します。

■教科書・参考書

必要に応じて授業中に参考書、関連書籍を紹介します。

■関連する科目

職業指導Ⅰ、技術科教育法、情報と職業、特別活動論、情報科教育法、